



避難情報の名称が変わりました

昨年8月の台風第10号による水害では、岩手県の高齢者施設において適切な避難行動がとられなかったことにより、尊い命が犠牲になるなど被害が拡大しました。

そのことを踏まえ、内閣府では有識者による検討会を開催し、今年1月に避難情報の名称を分かりやすい表現に変更しました。

「避難準備情報」 → 「避難準備・高齢者等避難開始」
「避難勧告」 → 「避難勧告」 ※変更なし
「避難指示」 → 「避難指示（緊急）」

市から「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合、高齢者など避難に時間を要する人は、速やかに避難行動を開始します。

「避難勧告」が発令された場合は、災害が発生する可能性が高まっているため、避難に時間を要する人に限らず速やかに避難行動をとります。

また、「避難指示（緊急）」が発令された場合は、既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況であるため、緊急に避難行動をとる必要があります。

＜避難行動＞

避難行動とは、次の全ての行動をいいます。

- ① 拠点避難所への移動
- ② (自宅などから移動しての) 安全な場所への移動 (公園、親戚や友人宅など)
- ③ 近隣の高い建物、強度の強い建物などへの移動
- ④ 建物内の安全な場所での待避

市から避難情報が発令された場合は、速やかに避難行動をとることはもちろん、避難情報が発令される前であっても、気象情報などに注意を払い、危険と判断した場合は、自発的に避難行動をとることが「命を守る」ことにつながります。

平成28年度 市俳句協会新年句会

2月4日(土)、中央公民館で顧問の奥村誠一路先生と西田さい雪先生参加のもと、新年句会が開催されました。当日の秀句抄を紹介します。

秀句抄

一位(会長杯) 千の田に千の畦あり冬万灯

山田 深雪

二位 一年の句屑どんどの火に飛べり

瀬戸 初枝

三位 寒禽かんきんやひとりに広き屋敷林

南 邦夫

雪しまく背に出稼ぎの大荷物

松原八重子

冬の雷闇引き連れて轟きぬ

藤谷 幸恵

寒に入る今朝の厨の水うまし

山田 深雪

入選 初風呂の湯気より父と子の対話

瀬戸 初枝

もらい日と眩く母の鋤始

大橋 翠節

午後の日を返し眩しき軒氷柱

和沢 靖子

奥村誠一路先生

特選 一年の句屑どんどの火に飛べり

瀬戸 初枝

準特選 凍星いっほしへ胡弓の音色響き合ふ

笹野 邦子

切妻の日のひとつところ寒雀

南 邦夫

西田さい雪先生

特選 午後の日を返し眩しき軒氷柱

和沢 靖子

準特選 初風呂の湯気より父と子の対話

瀬戸 初枝

ねんねこの温み忘れぬ二十歳の子

水橋眞智子